

郷土史への扉

前回は天降川と温泉の関係について紹介しましたが、今回は天降川の不思議な地形とその成り立ちについて紹介します。

一、国指定天然記念物

天降川の河川の底は、えびの盆地を起源とする加久藤カルデラ（約三十四万年前）の火碎流堆積物をベースに、指宿地域を起源とする阿多カルデラ

(約十万年前) や錦江湾を起源とする
姶良カルデラ(約三万年前) の火碎流
の地層が連続して露出しています。九
州の5大カルデラ噴火^{注1}のうち、3つ
の噴火の火碎流堆積物が見られる地質
学的にも大変貴重な地域です。ちなみに
に「火碎流」とは、高温の溶岩のかけ
らや火山灰、火山ガスなどが混ざり
合って流れ出し、熱風を伴って周辺を
焼き尽くす現象で、姶良カルデラの場
合は火碎流が南九州を覆い尽くし、標
高260メートルまでシラスが堆積していま
す。

二、不思議な地形

天降川は、三十数万年前の大規模な断層によって窪地ができ、その断層面（北東—南西の方向）に沿って河川が形成され、現在の場所を流れています。

三、天降川の成り立ち

また、久留味川にも、写真②のよう
に河川に沿った北東ー南西方向の断層
によるずれを見るることができます。

天竺ニセノボシ議ナシ形

噴火時に火碎流

によつて再石化し

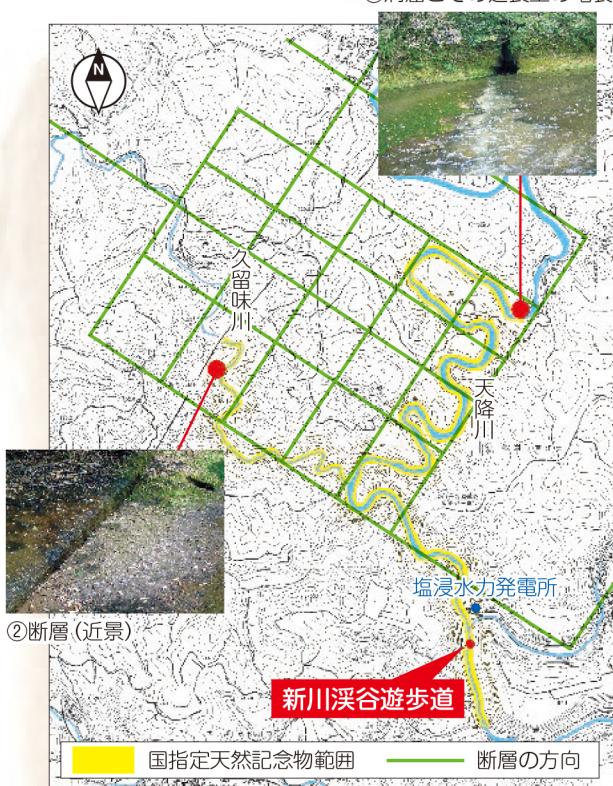
天降川の河底に露出
する、水の作用

によつてさまざま
おうけつ
甌穴をつくり出して

いします。その特徴は、歓穴形成の初期の段

附ノイ圖外ノ文

を形成するなど、**甌**穴の発達過程を見る



二、不思議な地形

ことができ、学術的にも教育における野外標本としても大変貴重なものとなつていてことから、平成25年3月27日、「天降川流域の火碎流堆積物」として、国の天然記念物に指定されました。

水路として使用されていましたが、おそらくこれは断層によって亀裂が生じ現し、これを利用したものと思われます。写真①にあるように洞穴の延長上には、断層によつてできた亀裂が走つています。

また、久留味川にも、写真②のよう
に河川に沿った北東—南西方向の断層
によるずれを見るることができます。

三、天降川の成り立ち

このように天降川は、地殻変動や火
山活動によつて、現在の場所を流れる
ようになり、三万年の歳月をかけて流
水による浸食によつて、現在の地形を
形成しました。

また、当地は火碎流などが幾重にも堆積していることから、その層の間を地下水が流れ横川町の「大出水」おおでみずを代表するよう、多くの勇水があります。

天降川中流域は、開発の手がほとんど入つておらず、豊かな自然をそのままに残し、さらには地質・火山・植物など、多岐にわたる貴重な資料がたくさん点在しています。

と入っておらす 豊かな自然をそのままに残し、さらには地質・火山・植物など、多岐にわたる貴重な資料がたくさん点在しています。